2 専門分野プログラム

専攻に応じて専門分野を海外で学ぶためのプログラムです。
基本的に、プログラム実施学部・研究科の所属学生を対象としています。詳しくは、各学部・研究科学務係にお問い合わせください。

〈プログラムの例〉 ※この他にも実施されるプログラムがあります。最新の情報は所属学部・研究科の学務係で確認してください。

実施学部・研究科	プログラム名	実施予定時期・期間	研修先国・地域	研修先大学等	単位付与・認定	概　要
教育学部	アジア大学スポーツ交流プロジェクト ～Sports for P.E.A.C.E.～	12月上旬（4日間）	韓国、中国	漢陽大学、哈爾浜商業大学	無	漢陽大学体育学部・生活体育学部、哈爾浜商業大学体育学院の学生と各国の得意スポーツのトレーニング方法などについて情報交換する。また、研究についても学術的な交流を行い、スポーツを通じた交流も実施することで友好を深める。
理学部	インド太平洋地域の「仮想フィールド」を利活用したハイブリッド型フィールド科学人材育成プログラム	4月～3月（短期:10日間 中期:1～3か月間 長期:3～12か月間）	インド、オーストラリア、スリランカ	インド理科大学院大学、マッコリー大学、ペラデニア大学 等	有	インド・オーストラリア・スリランカの大学生らとともに、仮想フィールド実習および渡航型のフィールド実習を通して、フィールド科学分野における最先端の研究環境を体験する。さらに、急速な資源開発やそれに伴う環境汚染に対する先端的な野外調査技術を体験する。
医学部 医学科	夏期医学生交流	8月～9月（約2週間）	中国、インドネシア、タイ 等	ハルビン医科大学、ハサヌディン大学、タマサート大学 等	有	海外の医療や医学研究機関の見学・実習と共に、現地医学生との交流を目的とした国際舞台で活躍する医師となるためのファースト・ステップ。各大学の学生がお互いの大学を訪問し、異文化交流を深めることで、国際感覚を身につける。
	医学研究実習	9月～10月（約8週間）	アメリカ合衆国、マレーシア、フィンランド、スウェーデン 等	ハーバード大学、タフツ大学、ヘルシンキ大学、カロリンスカ研究所 等	有	学生は自ら希望する研究室を学内外から選び、研究活動の実際を経験し、研究の意義や重要性を理解すると共に、研究の基本的な進め方を学ぶ。医学生を海外に派遣することで研究心を刺激し、海外経験を通じて、将来的に最先端の医学研究や国際医療協力などグローバルに活躍できる人材を養成する。
医学部 保健学科	グローバルヘルス人材育成短期派遣プログラム	9月上旬～中旬（8日間）	スリランカ	ペラデニヤ大学	有	ペラデニヤ大学に、夏季休暇期間（直行便の都合で8日間）、6名程度の学生を派遣し、大学や病院、JICAオフィスなどの見学・研修を通して、グローバルヘルスに関する意識高揚・人材育成を図るプログラム。
歯学部	世界の多様性理解を背景とした汎用力涵養を目指したグローバルオーラルヘルスプロモーター育成プログラム	8月～3月（約2週間）	アメリカ、スウェーデン、タイ、ベトナム	ペンシルバニア大学、マルメ大学、チェンマイ大学、ホーチミン医科薬科大学、ハノイ医科大学	有	派遣先ではそれぞれの国や地域の特性を活かしたさまざまな短期研修プログラムが用意されており、日本とは異なる環境で口腔保健医療の実態を見聞・体験することにより、口腔保健医療の相互理解を深めることができる。
工学部	G-DORM学生交流プログラム（ブレンド型短期・中期）※課題解決型・アジア派遣	短期:2学期（講義）＋2月頃（派遣10日間）中期:8～9月（2ヶ月間）	カンボジア・ラオス・タイ・ベトナム	王立プノンペン大学（カンボジア）、ラオス国立大学（ラオス）、チュラロンコン大学（タイ）、ハノイ工科大学（ベトナム）	有	派遣先大学の学生と、専攻・学年・国籍混合の学生チームを結成し、主にグループワーク（GW）に取り組む。国際展開力を有する新潟関連企業（現地法人を含む）でのインターンシップと、派遣先大学での活動を組み合わせた学生交流プログラム。短期派遣では、国内学修やオンライン交流を含んだブレンド型の国際共修に取り組む。
	マレーシア派遣プログラム	2月下旬～3月（約5週間）	マレーシア	マレーシア工科大学	有	英語研修と大学や企業等訪問を組み合わせたプログラム。将来国際社会で活躍するために必要な英語でのコミュニケーション能力を向上させるとともに,今後の学習や長期の留学に対する意欲を高めることを目的とする。
農学部	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム（短期）	8～9月（約2週間）	トルコ、台湾 等	アンカラ大学、中東工科大学、国立成功大学 等	有	海外（トルコ・台湾等）の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、現地学生を交えた英語のワークショップを実施する。
	グローバル農力養成プログラム/グローバル防災・復興プログラム（中期・長期）	未定（中期:～6ヶ月間、長期:～1年間）	トルコ 等	アンカラ大学、中東工科大学 等	有	海外（トルコ等）の協定校との交流を行う中で、訪問国の農業・防災・復興を複合的視点で学習するほか、研究室で専門の研究を実施する。
教育実践学研究科	北京師範大学大学院研究交流事業	11月頃（約6日間）	中国	北京師範大学	無	北京師範大学大学院生と研究交流を行う。また、附属学校において交流事業を行う。

アジア大学スポーツ交流プロジェクト（教育学部）

グローバル防災・復興プログラム（農学部）